

会長：白石慎太郎 副会長：高橋建二 幹事：今村佳広 クラブ会報・IT 委員会委員長：松本崇

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955（事務局）

2023 年 12 月 14 日 第 3445 回 週報第 3445 号

本 日 12 月 14 日	会員数 65 名	対象者 65 名	出席者 39(39) 名	出席率 60.00 %			
前々回 11 月 26 日	会員数 64 名	対象者 64 名	出席者 64(64) 名	出席率 100 %	MUP 0 名	計 64 名	修正率 100 %

第二回情報集会報告会 テーマ 「ミッション ポッシブル 平塚 RC」

赤グループ 松本崇幹事 発表者：松本崇幹事
出席者：8 名

①平塚ロータリークラブが目指すべき目標

○平塚ロータリークラブビジョン声明の具体的優先事項の中で、一番実践できていないのは 4 番の「国際貢献事業の再構築を図る」である。地域への奉仕活動、近隣クラブとの連携も大切だが、グローバルな活動を行い、世界へ出ていきロータリークラブとしてひと回り大きくなることが目標

②平塚ロータリークラブがその目標のために行うべき活動や事業

○世界のロータリアン 118 万人との繋がりを活かせるような活動
○こちらから海外のロータリークラブへ行くのではなく、招待したらどうか
○大人の繋がりも大切だが、子ども達への未来ある貢献がよいのでは
○いきなり世界へ出ていくのも色々な課題があるので、まず姉妹クラブである
台南東ロータリークラブの子ども達を招待して、平塚の子ども達と交流を深め、
台湾の子ども達に日本の文化を学んでいただき日本の子ども達にも海外の人との
交流を肌で感じていただく
(野球・サッカーなどのスポーツ交流、バーベキューなどでの懇親会などなど)

【まとめ】

○他クラブと比べると平塚ロータリークラブビジョン声明の具体的優先事項の 1～3 はよくできていると思います。国際貢献事業を行い、世界へ出ていきましょう！

橙グループ 小林誠幹事 発表者：小林誠幹事
出席者：9 名

平塚 RC 70 周年を控え、新規事業がどんな目的？どんな事業か？との内容でしたが、白石会長の具体的優先事項

- ・地域ニーズを把握し平塚 RC の活動発信する
- ・地域への奉仕活動を提案
- ・近隣クラブとの提携
- ・国際貢献事業の再構築

を冒頭に確認しつつ、平塚ロータリークラブビジョン声明を読み上げブレスト方式で議論をスタートさせました。

議題は、①地域とはどこか・②地域の課題は何か・③ターゲットは誰か・④奉仕とは・⑤どんな事業か、です。

まず地域とは、全員一致でやはり平塚。次に地域の課題について多く意見が出る中、「地域の財産がなくなること」と「こどもたちの学力低下」の 2 点にまとまりました。財産とは湘南ベルマーレや湘南ひらつか七夕まつりなどが、もし平塚から無くなったらどんな街になるのだろうかといった課題です。

学力低下とは、現状平塚市の学力が神奈川県内で平均以下である事実。それによって地域の犯罪や生活困窮などが考えられるといった課題です。

ターゲットは未来の地域を担う子どもたち。奉仕は職業奉仕でアプローチが良いとなりました。当クラブでも昨年平塚学園ではインターアクトクラブへ会員企業による講和実施や、先日神奈川新聞紙面に、神奈川中央交通今井社長が山城中学校にて社会での企業の在り方、今後の事業展開などを講和された記事もございました。平塚商工会議所の委員会でも、同様の JC 事業を引き継いでいます。

橙グループメンバーには会頭・教育委員会関係者・70 周年の会長予定者も同席していたこともあり、平塚 RC 単独で 70 周年の事業を行うのではなく、RC・行政・商工会議所 3 団体の HUB となり、「平塚市内の子どもたちに職業体験やそれぞれの企業が地域や社会に貢献している

ことの講和などができる環境を作っていくこと」です。
以上が橙グループの事業提案となります。

当日は今井社長のご厚意で美味しいお酒も頂き、集会後半は皆さん滑らかに多くの意見が飛び交う楽しい情報集会となりました。ごちそうさまでした！

黄グループ 相山洋明幹事 発表者：相山洋明幹事

出席者：6名

新規事業の提案「平塚 RC プレスト会議」

冒頭、これまで行ってきた事業について、成瀬会員や清水会員、高橋会員からお話を聞く。マラソン大会や巣箱作りなど今でも継続しているものから、良い音楽を親しむ会や鍵盤ハーモニカを寄付する取り組みなど、様々な事業を行ってきた経緯を伺う。



次には平塚の抱える課題は？という問いかけがあり、町の架台解決になるような事業を考えてみてはとの提案が起こりました。例えば平塚の持つ課題の一つとして東西を繋ぐ交通手段がないとか、今年度の IM のテーマにもなる「不登校」について、ベルマーレのスタジアム問題など、様々な切り口で課題の抽出を行いました。

また宮下会員からはご自身の職業に関連して、観光を目玉にした市外・県外からの観光客の招致やインバウンド需要の取り込み事例などを伺い、そこから展開し熱海の街づくりの成功事例の話から、商店街の活性化や元々ある平塚の魅力の再発見・発信という話題に。

平塚の魅力は？との問いに、海、ベルマーレ、美術館や博物館などの施設に恵まれている、などなど意見が出るが、逆にこれと言った名物や売りが無いと言う意見も。

更には新事業を始めるにあたり、地区の補助金を活用すべきと言う話題に。

食事もありそろそろ発表の為にも一つの事業に絞らないと、と言う中で「今日は最後の最後までテーマに沿った話ばかりだったな」との気づきが生まれ、きつとこのテーマだったから最後まで真面目に話しが出来たのだらうとの結論に至りました。

そこから「こう言う機会を定期的に持つのはどうか?!」との意見が上がり、新規事業として『平塚 RC プレスト会議』の発想が出てきました。

年に1～2度、情報集会のようなグループ単位か又は全体で行うか、みんなでロータリークラブの未来についてプレストを行うことは有意義な時間になるのではとの結論に達しました。

緑グループ 米山俊二幹事 発表者：新堀将一会員

出席者：10名

《ミッション＝平塚 RC の団体としての使命 ポッシブル＝平塚 RC なら可能なこと》

周年ごとに新しい事業を立ち上げてきているが、継続

性があまりなく立ち消えになっているのが現状

現事業を再確認することが、まずは大事。平塚 RC の事業は息が長い事業も多く、これ以上増やす事は難しいのではないかと、このまま充実させて継続するでも良いという意見が出ました。



そして、方向性として我々の地元地域での事業を目指すか？ それとも国際的な事業を目指すのか？大きく二つに方向性を絞り意見を交換しました。

【地元地域ニーズ】

ジングルマザーの家庭や、大学等に進学出来ない家庭が有るという現状があるので、地域の問題をヒアリングすることからはじめ、地域の問題点を改善できる事業を考えてはどうか、→現在、国が学費の無償化を進めている現状も踏まえ、今後は教育を中心した事業はどうか、という意見が出ましたが、しかし、RCには教育は知識が乏しいので無理じゃないかといった意見も出ました。その他の問題点は、ヤングケアラー、若い子が介護をしている、児童相談所の問題→問題のある子ども非常に多い等の問題点がある、焼津 RC:ほかの RC 取り組みでは、市内の小中校の校長先生とグループディスカッション・懇談会などを行って意見交換を行っている事業が有り、非常に良い事業なので、参考にしてみては意見が出ました。地域ニーズとしては、教育に取り組んでみる事業が良いので纏まりました。

【国際ニーズ】

国際奉仕として、対象国の社会情勢や治安の問題も考慮する必要がある。国際事業は継続が難しい→やりっぱなしではいけないので、現地で引き継げる事業が良い、若者を巻き込んで一緒に出来る事業等を考える。

先日訪問した、姉妹クラブの台南東区との合同事業を70周年までに考え共同事業を行うことが出来ないか等の意見が出ました。地区の補助金もあるが、補助金ありきの事業はいかなるものかという意見が出ました。

そして、その他に出た内容は

☆現事業はほとんど委員長が一人で行っている感じががあるので、1年に1度は全員参加の事業をしたい。クラブを存続させる事が1番→RCが生き残る為の事業を考える。魅力的な事業を行えば、若い人達に RC の魅力が伝わり、入会に繋がるのでは？

神奈川大学のロケット部が平塚での打ち上げ場所の提供をしてくれないかという話があり支援してはどうか？

平塚は過去に軍事産業→自動車産業が中心であったので、今後はロケット産業で潤うまちを目指して等、沢山の意見が出ました。

そして、最後に全体を通して最終的に考えた緑グループの

新規事業は

☆目標として クラブの存続・生き残るため

今こそ、ロータリアンの【再教育！】 我が身を正せ！
ロータリアンの教育大事

ということで、緑グループの意見がまとまりました。以上で報告とさせていただきます。

青グループ 鈴木成一幹事 発表者：鈴木成一幹事

出席者：4名

我が青グループは、11月27日（月）、今村幹事のお店「若むらさき」にて開催しました。

5名の参加予定で、残念ながら当日は4名となりましたが、少人数ゆえに、以前からのマネーについての疑問を岡田さんにたくさん聞くことが出来、私としては料理だけでなく、大変オイシイ機会となりました。



まず、今回のテーマの難易度が高く、頭を抱えるところからスタートしましたが、開き直っての雑談から偶然に出た案から一つに絞ってご紹介します。

昔、我がクラブで行われていた「14歳立春式」という事業について、升水さんから提案を頂きました。クラブHPの「クラブ概要／沿革」ページでも経緯が確認できたので、この際ご紹介します。

第9年度（1964～1965）升水好文会長
鹿島孝二会員の提唱により、青少年の健全な育成を願い「14歳立春式」を発足させる。

第10年度（1965～1966）後藤幸治会長
「14歳立春式」を継続事業とすることを確認、第2回式典には2千数百人の青少年を激励。

第11年度（1966～1967）井上茂平会長
立春式にちなんだ「立志の像」を建設する目的で、市へ100万円寄贈。
→像は青少年会館に

第25年度（1980～1981）内田八十吉会長
「第17回立春式」で、対象者が一堂に集まり開催する最後の年となる。

→教育委員会のクレームにより中止になったとのこと。

第26年度（1981～1982）
「14歳立春式」を「14歳立志式」と改名、RI会長より「意義ある業績賞」を授与される（第2回目）。

第29年度（1984～1985）
「14歳立志式」については、立志の趣旨を生かしながら「立志啓発事業」として冊子を発刊配布することとなり、第一回目の発刊がなされる。

確認できた経緯は以上です。
事業としては、どこも批判されるようなものではないと思われ、是非復活されればと思います。

以上、ご報告とさせていただきます。

紫グループ 江藤博一幹事 発表者：市川雅範副幹事

出席者：7名

紫グループは、11月29日（水）にグループメンバーの笹尾さんの「ホテルサンライフガーデン」にて情報集会を開催しました。グループ幹事の江藤さん調整のもと、清水孝一さん、元吉さん、青木さん、そして発表者の市川と事務局の吉野さんが加わり、総勢6名の参加となりました。



今回テーマの「ミッション ポッシブル 平塚ロータリークラブ70周年を目前に控え、クラブビジョンを実現・飛躍させるために、私たちクラブが取り組むべき新規事業とは、どういう目的・使命で、どのような事業なら実現可能か」について、「今、ロータリークラブに関して思うこと」を整理したうえで、具体的な新規事業、そのために必要なことや結果として得られるものなどについて探るようなアプローチで意見交換を行いました。「今、ロータリークラブに関して思うこと」のメンバーの主な意見は以下のとおりです。

●平塚ロータリークラブは、2780地区はもちろんのこと、第8グループでもリーディングクラブである。しかしながら、ガバナーを輩出しておらず、国際貢献事業も弱い。

●地元名士の集まりで、敷居が高い気がして、個人的には馴染めずにいる。自分がいて良いのかと思う時がある。

●企業出向者やJ・C・Y・E・Gに所属していた方からの入会など組織としてバランスが取れていて、ポテンシャルが高い。

●会員同士の親睦ができています。

●歴史が古く、様々な地域貢献をしているが、プロモーション・発信力が弱い。そうした事業が認知されていない。広報や発信力などをもっと充実させて良いのではないか。

●国際貢献では、まずは旅行目線でも良いから海外事業を考えてみる必要がある。その一方で、国際貢献も良いが、まずは地元貢献が大切。しかしながら、見識を広げる、知るということでは、海外も有効であるが、現実的にはアジアが精一杯である。

●ガバナーの輩出は、組織が強くなる一つの手段である。

そのうえで、紫グループが考える具体的な新規事業は、「どうやって平塚市や地域を良くするか・もっと住みやすい街にするのか」、具体的には平塚市南北を結ぶアクセスや中心市街地の活性化、街の美観推進、福祉・育児の充実などをロータリークラブや地元経営者といった独自の目線で平塚市をはじめとする行政や商工会議所に対し提言を行うこと、そして、その提言に基づき、地域住民の方々を巻き込んだ活動にしていこうことや対外的な情報発信の場としていくために、公開討論会やシンポジウムを開催するという事業を提案します。

この事業の目的・使命を平塚ロータリークラブビジョン声明で整理しますと、クラブビジョンでは、その実現に向けた具体的優先事項の奉仕活動の中で、「地域社会との関わり合いを積極的に高めること」を掲げていて、更に具体的には、①地域ニーズを把握し、また地域に対してロータリークラブの活動を発信する仕組みづくり、②

地域に対して奉仕活動を提案し、地域から受け入れられ、評価させるクラブ、の実現としています。今回、紫グループで提案する新規事業、行政・各種団体への提言、地域住民の参加によるシンポジウムの開催は、この①・②に資する事業と捉えています。

次に、この新規事業を実現するために必要なことについて意見交換を行いました。その内容は以下のとおりです。

●新規事業を展開するにあたっては、プロジェクトチームや専属の委員会を立ち上げてやっていくこと。そうでないと、非常に労力のかかることなので、なかなか具現化できないのではないかな。

●事業の骨格、意見やアイデアはクラブメンバーがしっかり考えるとして、進め方や全体のコーディネート、実際の手を動かすワークの部分では外部コンサルタントを活用することも有効な手段ではないかな。

●具体的にどの事業というところまで意見は及びませんでしたが、今現在、様々な継続事業がありますが、少し整理や他団体へバトンタッチをすることで、新規事業にかける予算と労力を振り向けていく必要がある。

●新規事業をより効果的なものにするための、あえて必要な“手段”として、平塚ロータリークラブからガバナーを輩出するべき。その理由は、リーディングクラブとして平塚ロータリークラブの活動、地域への貢献という様々な取り組みや考え、また具体的なアプローチ方法について、他クラブへの波及や連携など大きなうねり・運動になるのではないかな。そのことで、より行政や地域への影響力や存在感を増すことができるのではないかなということでした。この部分では、事業の目的・使命としては、クラブビジョン声明の具体的優先事項の同じ奉仕活動の中の、③近隣クラブとの連携、の実現ということにも及ぶものかもしれません。

以上、今回「ミッション ポッシブル 平塚ロータリークラブ」をテーマに、改めて平塚ロータリークラブのこれからの活動について考える良い機会をいただけたこと、そして、何より、サン・ライフの笹尾さんのご厚意もあり、美味しい料理とお酒を交えて、参加メンバー同士の親睦を深められたことができ、大変有意義な意見交換をさせていただくことができました。

幹事報告

◎2026-27 年度地区ガバナー・ノミニー候補について
第2780地区指名委員会は12月8日に委員会を開催し、国際ロータリー細則第12条の規定に基づき、2026-27年度地区ガバナー・ノミニー候補者として、鎌倉RCの中込仁志氏を指名し、ガバナーに報告されました。

◎秋田豪雨災害支援金について

8月に皆様からご協力いただいた、秋田豪雨災害支援金について国際ロータリー第2540地区の淡路徹ガバナーよりお礼と報告が届きました。

支援金は最も被害が大きかった秋田市に2,300万円を始め、その他の災害救助法指定の市町村などに贈呈されました。平塚クラブからは¥37,000送金致しました。ご協力ありがとうございました。

◎クリスマス例会について

次週はクリスマス例会ですが、17:30より例会を行いますので、17:15までに例会場へお集まりください。今回はやっと家族と一緒にクリスマス例会を楽しむことが可能となりました。出欠の回答がまだの方はどうぞご家族と一緒にご参加ください。

親睦委員会の皆さんが、楽しい時間を過ごせるように企画して下さっていますので、多くのご参加をお願い致します。

委員会報告

○親睦委員会 嶋田委員長

クリスマス家族例会のご案内です。現在、50名以上の参加予定で、ご家族にも多数のご参加をいただく予定です。開催にあたり抽選会の商品協賛をお願い致します。協賛いただける商品を12月21日の例会当日にお持ちください。

当日はお酒が出ますので、お酒を飲まれる方は車での来場は止めてください。親睦委員会全員で盛り上げたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

○プログラム委員会 鈴木成一委員長

1月11日（木）18:00よりニューイヤーコンサートを開催致します。今年の演者は元関脇水戸泉関の奥様でソプラノ歌手の小野友葵子様です。皆様、是非ご参加ください。

台南東RC創立57周年記念式典・調印式報告



令和5年12月1日、台南大員皇冠假日酒店にて当クラブは白石会長以下、計6名で台南東RC57周年式典に参加し、姉妹クラブの調印をいたしました。当日、台南駅で台南東RCの方々から赤の横断幕で熱烈な歓迎をうけ、式典会場まで車で送って頂きました。式典は推定200余名ほどの熱気であふれており、点鐘、国歌斉唱（台湾、シンガポール、日本）、様々な挨拶等が滞りなく進行して行きました。

平塚RCからは白石会長が挨拶に立ち、「台南東RC創立57周年への祝辞、コロナ後の再会の歓び、平塚RC担当の米山奨学生が台南出身である縁、東日本大震災で台

湾から受けた援助への感謝」が主に述べられました。会長の肉声で伝える事と通訳で伝える事を明確に区別したことが功を奏し、多くの方々が耳を傾けていました。式典最後に、返礼として平塚RC一同で谷村新司さんの「昴」を熱唱し、台湾の方々にSmileのお返しをしてきました。その中で、親子2世代でロータリアンの元吉会員と車イスにのった96歳の台南東RCの会員との、世代をまたいだ旧交を温めるシーンは非常に感動的であり、まさに国際交流の醍醐味であったことを特筆しておきます。

最後になりますが、この事業の計画立案、実行をして頂いた江藤大委員長、前田姉妹クラブ委員長、秋山国際奉仕委員長へ感謝の意を述べたいと思います。初参加の私に色々教えてくれたからです。私自身は、外（他者）に触れ合ったことで内（自己）を相対的にみることが出来た貴重な体験でした。国際交流事業に参加するために必要だと思った要件を次のファーストペンギンのために記しておきます。1、明確な参加動機、2、健康な体、3、いくばくかのお金、4、寛容性のある方々のサポートです。

以上*PP馬（マー）よりの報告でした。*（台南東RC的表現）



入会式

高橋税務会計
税理士 高橋茂久様



今週のお祝い

誕生日祝い・・・なし
結婚祝い・・・なし

メイクアップ (MUP)

0名

本日のスマイル

17名+6グループ

ゲスト

1名

レモンガス(株) 代表取締役社長 赤津欣也様

ビジター

0名

卓話・行事予定

12月21日(木) クリスマス家族例会（夜間例会）
12月28日(木) 休会
1月 4日(木) 休会
1月11日(木) ニューイヤーコンサート（夜間例会）

市内例会変更

現在ございません

